

の発表を現地十日に控え、警戒感が高まっていることも株価の下落につながり、銅相場の上値を抑えた。

LME銅先物は、二〇〇日移動平均線（足元で約九、七〇五ドル）をこの日も一時割り込み、九、六四二ドルまで値を消す場面もあったが、同平均線を下回ると買い直される、前

橋本健一郎氏が会長に留任する

非鉄リサイクル全連が三年ぶりに対面総会

非鉄金属リサイクル全国連合会は六月四日、雨晴温泉 磯はなび（富山県高岡市太田八八一）にて第六四回通常総会を開催した。

総務の（東海）伊藤博康氏による司会で行われ、副会長（東海）六車龍三氏による開会の辞が述べられた。

会長（関西）橋本健一郎氏が議長に任命され総会はスタート。

今年には任期満了に伴う改選もあったが、全会一致で終了。副会長（東京）田子政夫氏により閉会の辞が述べられた。



まった。アルミについては、一時二七六七ドルまで値を消したのが、底堅さを残しつつ、値を戻す展開となり、五八・五ドル高の二、八一四ドルで引けた。一時は二、八四六・五〇ドルと、六月一日入電（二、八九六・五〇ドル）以来の水準に回復した。場外も含めた終値は二、八三六ドルだった。

新会長（留任）となった橋本氏は「前期はコロナでやりたいことができませんでしたが、その悔しい思いを皆様が汲んでくださっての留任だと思っております。感謝すると共に期待に添えるように精一杯がんばります」と述べた。

終了後、ハリタ金属代表取締役張田真氏による講演がおこなわれ一同聞き入った。

その後同ホテルにて懇親会が行われ、五〇名が参加、マジックショーや三年ぶりとなる懇親を和気藹々楽しんだ。

